

## 第一分科会 テーマ「家庭と学校」

しつけと人間関係の基礎である家庭と、集団生活を通してルールやマナーそして多くの人間関係を学ぶ学校について、第一分科会ではテーマを「家庭と学校」として話し合うことになりました。子どもを心身ともに健全に育てるため、まずは現状把握として「子どもの現状と課題」「家庭の現状と課題」「学校の現状と課題」とに分けて検討しました。

### 1. 「子ども」「家庭」「学校」の現状と課題

子どもの現状と課題	家庭の現状と課題	学校の現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>*自立ができない(幼稚化)</li> <li>*判断力が弱い</li> <li>*指示待ちが多い</li> <li>*生活の夜型化(朝起きられない、朝食をとらない)</li> <li>*遊びでの人間関係不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育熱心と放任の二極化</li> <li>*友達感覚の親の増加</li> <li>*食生活に自信を持ってない</li> <li>*子どもの夜型化の容認</li> <li>*学校を休ませ遊びに行く</li> <li>*地域との関わりをもたない、もてない(親の孤立化)</li> <li>*親子の積極的なコミュニケーション不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもが疲れている(塾、習い事、スポーツなどで忙しい)</li> <li>*集団生活になじめない</li> <li>*朝食をとらずに登校</li> <li>*忘れ物が多い</li> <li>*遅刻を繰り返す</li> <li>*物を大事にしない</li> <li>*家庭学習をしない</li> <li>*価値観の多様化</li> <li>*子どもの学校生活に関心を持たない保護者</li> </ul>

### 2. 「家庭」と「学校」の役割

家庭の役割	学校の役割
<ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもへ愛情をそそぐ</li> <li>*子どもが生きるための衣・食・住の保障</li> <li>*善悪を理解させ、けじめをつけさせる</li> <li>*躰(家庭のルールは社会への一歩)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*命の大切さと健康の保持増進</li> <li>*学ぶ姿勢と学習の基礎・基本の定着</li> <li>*生きることの意味と生きる力の育成</li> <li>*集団生活のルールとマナー</li> </ul>

### 3. 「家庭」と「学校」の連携により

- \* 基本的な生活習慣の定着の深化を、図ることができる。
- \* 家庭と学校の相互理解が深まることにより、より一層の連携の強化を、図ることができる。
- \* 学校からの発信(学級だより、HP、学校公開など)の努力により、個人・家庭・学校の理解を、図ることができる。
- \* 子ども一人一人に声を掛け、子どもの言葉を聞いてあげることにより、子どもの豊かな心を育むことができる。

### 4. まとめ

子どもが愛情を持って大切にされていることを、体感することができれば、穏やかな気持ちを持つことができ、自分に自信を持ち、他者を認め争いのない社会を形成することができます。健全な子どもの姿は、大人の責任と義務です。